



白屋八幡神社本殿



白屋八幡神社（檀原市）



檀原市立畝傍中学校の
東隣に十数軒が並ぶ住宅

故郷の思い継ぎ鎮座

地があります。住宅地中
央の道の突き当たり、
目に鮮やかな白屋八幡神
社の社殿が現れます。

創建は901（延喜元
年で、かつて川上村白屋
にありました。義経が矢

を奉納したことにな
み、地名の白谷を白矢（現

（住所）檀原市石川町158の1
（祭神）八幡神（菅田別尊）
（交通）近鉄檀原神宮前駅東口徒歩

約20分
（拝観）境内自由
（駐車場）なし（電話）なし

在は白屋）に改名したと
いう言い伝えもありま
す。大滝ダム建設による
地滑り被害で、白屋地区
の住民は集団移転を余儀
なくされました。白屋八
幡神社も2009年、住
民と共にこの地に遷座し
てきました。

根がつく重厚な造りで、
鉄骨製の覆屋で保護さ
れています。1675（延
宝3）年再建の建物をそ
のまま移築し、描かれて
いた絵や彫刻を、国宝な
どの修理と同じ技法で3
00年前の極彩色の姿に
復元しました。

本殿は入母屋造、檜
皮葺、正面に唐破風の屋
民が交代で務める宮守

（一年神主）の制度があ
り、宮守は一年間身を清
めるための非常に厳しい
決まりがありました。

村人たちが力を合わせ
長年守ってきた宮守の伝
統は、ダム建設に伴う移
転で、途絶えることにな
りました。しかし、白屋

八幡神社は、今ここ檀原
の地で、白屋の人々の故
郷への思いを受け継ぎ、
静かに鎮座しています。
（奈良まほろばソムリエ
の会会員 新森幸枝）